

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	平成25年度
		現在の状況

宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催
実施済
実施中
未着手

計画に記載している内容 計画の進捗管理や計画の変更・追加について、関係課で組織する「歴史まちづくり推進調整会議」を開催し庁内意見を調整し、「宇治市歴史的風致維持向上協議会」に意見を伺うこととする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

学識経験者、文化財所有者、各種関係団体及び行政関係者により構成される、宇治市歴史的風致維持向上協議会を開催し、歴史的風致維持向上に資する事業の追加や計画の進行管理・評価などについて、意見を聞くことができた。また、今年度は、(仮称)宇治川太閤堤跡歴史公園の整備計画(案)についての意見を聞くため、例年より1回多く協議会を開催した。「宇治市歴史的風致維持向上協議会」の開催に先立ち、「宇治市歴史まちづくり推進調整会議」を開催し、行政各部局間の横断的な連絡調整を行った。さらに、協議会で専門的な分野の協議をする専門部会の設置や、臨時的委員の設置を定めた要項の改正を行い、協議会での協議範囲の拡充を図った。

【定量的評価】

- 宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催回数 : 3回
- 宇治市歴史的風致維持向上協議会専門部会の開催回数 : 1回
- 宇治市歴史まちづくり推進調整会議の開催回数 : 3回

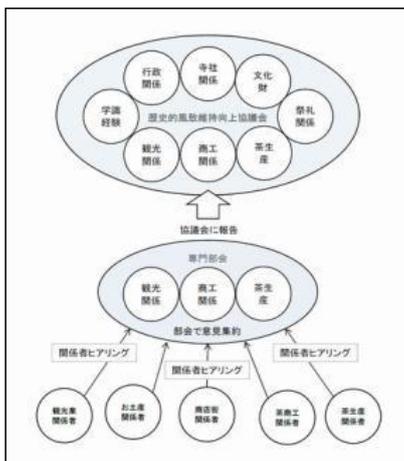
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

宇治市歴史的風致維持向上協議会・歴史まちづくり推進調整会議の開催状況

実施期間	種別	検討事項等
平成25年5月29日	第1回 歴史まちづくり推進調整会議	【内容】 1 計画の変更認定について 2 今年度の取組について
平成25年5月31日	第1回 歴史的風致維持向上協議会	
平成25年10月1日	第2回 歴史まちづくり推進調整会議	【内容】 1 (仮称)宇治川太閤堤跡歴史公園の整備計画(素案)の概要について 2 協議会の専門部会の設置について 3 新規事業の追加の取組状況について 4 平成24年度進行管理・評価シートの公表について
平成25年10月8日	第2回 歴史的風致維持向上協議会	
平成26年2月7日	第3回 歴史まちづくり推進調整会議	【内容】 1 (仮称)宇治川太閤堤跡歴史公園の整備計画(案)について 2 平成25年度進行管理・評価シートについて
平成26年2月19日	第3回 歴史的風致維持向上協議会	



専門部会の組織イメージ図



宇治市歴史的風致維持向上協議会開催の様子

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	

宇治上神社拝殿ほか屋根葺替修理事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成24年度 ~ 平成25年度

支援事業名 重要文化財(建造物・美術工芸品)修理、防災事業

計画に記載している内容 文化財としての価値の継承が図られる修理事業により、来訪者に宇治川東岸の歴史的景観をより魅力的に伝達できるとともに、地域住民による伝統的祭礼の継承への意欲を高める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国宝宇治上神社本殿及び国宝宇治上神社拝殿が、前回の檜皮葺屋根の修復事業から約30年が経過し屋根に損傷がみられることから、昨年に引き続き保存修理事業を実施した。宇治上神社拝殿は、平成24年度から修理に着手し平成25年10月に檜皮葺屋根の修理が完成した。宇治上神社本殿は、平成26年1月から檜皮葺屋根の修理に着手した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



宇治上神社 拝殿の屋根修理状況(完成)



宇治上神社 本殿の素屋根設置工事状況

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成25年度

項目	現在の状況
史跡整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成30年度

支援事業名 地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業

計画に記載している内容 壮大な築堤状況が体感できる空間整備と茶園景観の修景とを一体的に行い、多くの市民や来訪者に本市の歴史・文化の総合的理解を促す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡整備事業は、築堤当時と埋没期の宇治川太閤堤を再現し、太閤堤の果たした機能と歴史の重層性を表現することとしている。今年度は、築堤時の様子を再現するゾーンの部分的な遺構再現整備、史跡指定地内のレンガ窯跡の発掘調査を実施した。

遺構の再現整備では、太閤堤の石張り部はGRCパネルによる再現、石積み部は遺構と同種の石による再現とし、初年度整備については、その施工方法の確認を行うため、部分施工箇所宇治川太閤堤跡保存整備検討委員会の現地視察を行った。また同時に、一般市民にも再現方法を公開する公開活用事業を実施し、多くの市民や来訪者に本市の歴史・文化の理解を促すことができた。

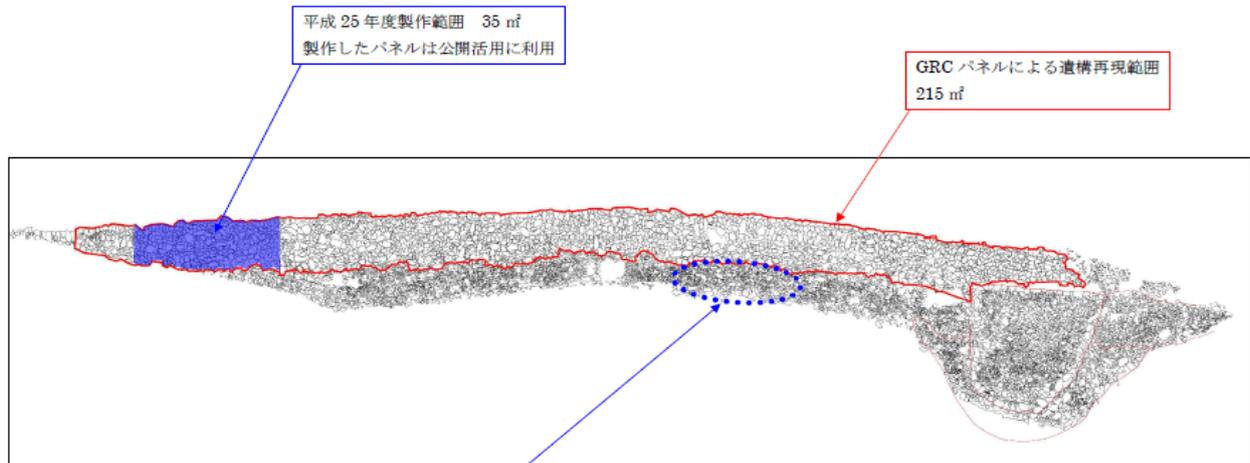
また、宇治川太閤堤跡史跡指定地の未調査部分の発掘調査として、遺構上層に包蔵されているレンガ窯跡の発掘調査を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



再現された石積み護岸



レンガ窯跡現地説明会の様子

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	

重要文化的景観保存事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 文化的景観保護推進事業国庫補助

計画に記載している内容 重要構成要素の修理事業を実施し、積極的な活用を図ることにより、賑わいのある沿道景観の魅力向上や伝統的な茶業の継承に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重要文化的景観「宇治の文化的景観」の景観重要構成要素である「中村藤吉本店」の修理を実施した。また、平成24年8月13・14日の京都府南部地域豪雨により、土砂崩れや流出等の被害に加え、伝統的な栽培をしている覆い下茶棚の損壊による被害を受けた重要構成要素に特定している「白川地区の茶畑」の復旧を行った。

【定量的評価】

景観重要構成要素の届出建物修理修景事業の実施件数: 1件

被災した景観重要構成要素(茶畑)の復旧の実施件数: 9件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



中村藤吉本店の改修前状況



中村藤吉本店の工事状況



白川茶畑災害時の状況



復旧後の様子

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成25年度

項目	現在の状況
歩道整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年度～平成31年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(道路事業)

計画に記載している内容 史跡公園と宇治川周辺の歴史・文化資源を結ぶ道路であり、歩道を整備することで、来訪者が歴史に触れながら安心して散策できる快適な歩行空間を確保でき、宇治川周辺の回遊性の向上につながる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
市道宇治五ヶ庄線の道路拡幅に伴う用地取得の交渉を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

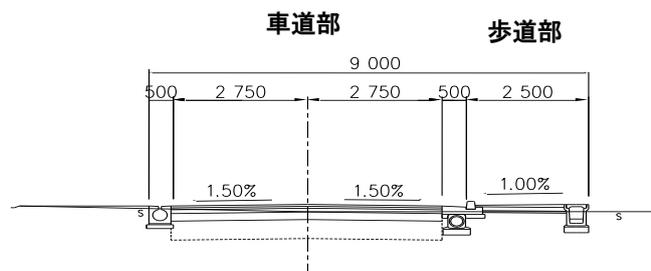
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



事業の進捗状況

事業実施区間



踏切部整備断面図

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
歩行空間整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～平成30年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 史跡公園と宇治川周辺の歴史・文化資源や白川集落を結ぶ道路に歩道空間を整備することで、来訪者が歴史に触れながら安心して散策できるようになり、回遊性の向上につながる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市道宇治白川線の歩道整備事業を実施した。事業の実施により、太陽が丘総合公園入口付近からの歩行者ネットワークの延長を図ることができた。

【定量的評価】
整備延長 L=110m

進捗状況 ※計画年次との対応

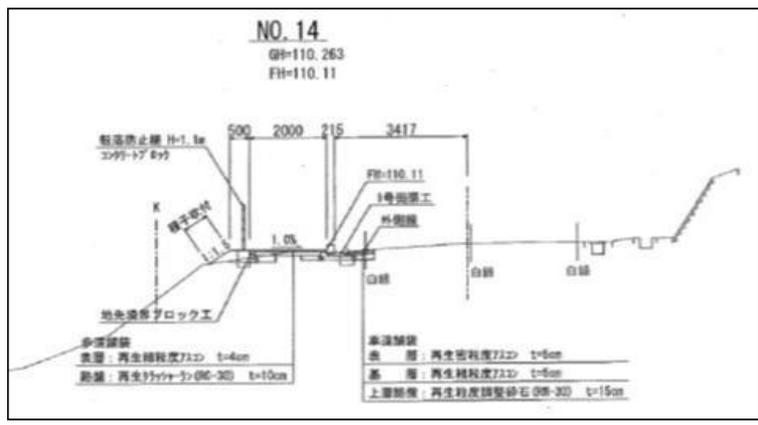
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



事業の進捗状況



拡幅部の整備断面図

評価軸③-6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	
建物修景助成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～

支援事業名 市単独事業費

計画に記載している内容 歴史ある沿道景観の保全と形成を促進し、賑わいと風情あるまちづくりが推進される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市は、特に景観に配慮すべき宇治市景観計画重点区域内の景観重要公共施設(道路)の一部沿道において、良好な景観の形成に著しく寄与すると認められる建物について、修景助成を行うこととしており、平成25年度に6件の景観形成助成事業を実施した。

【定量的評価】

景観形成助成の件数 : 6件 (建築物 3件、工作物 2件、その他 1件)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



宇治橋東詰地区 建築物の保護塗料塗布



中宇治地区 飲食店外壁改修

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成25年度

項目	現在の状況
屋外広告物助成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 景観阻害要因の減少とともに、歴史的な町並みと調和した賑わいと風情あるまちづくりが推進される。

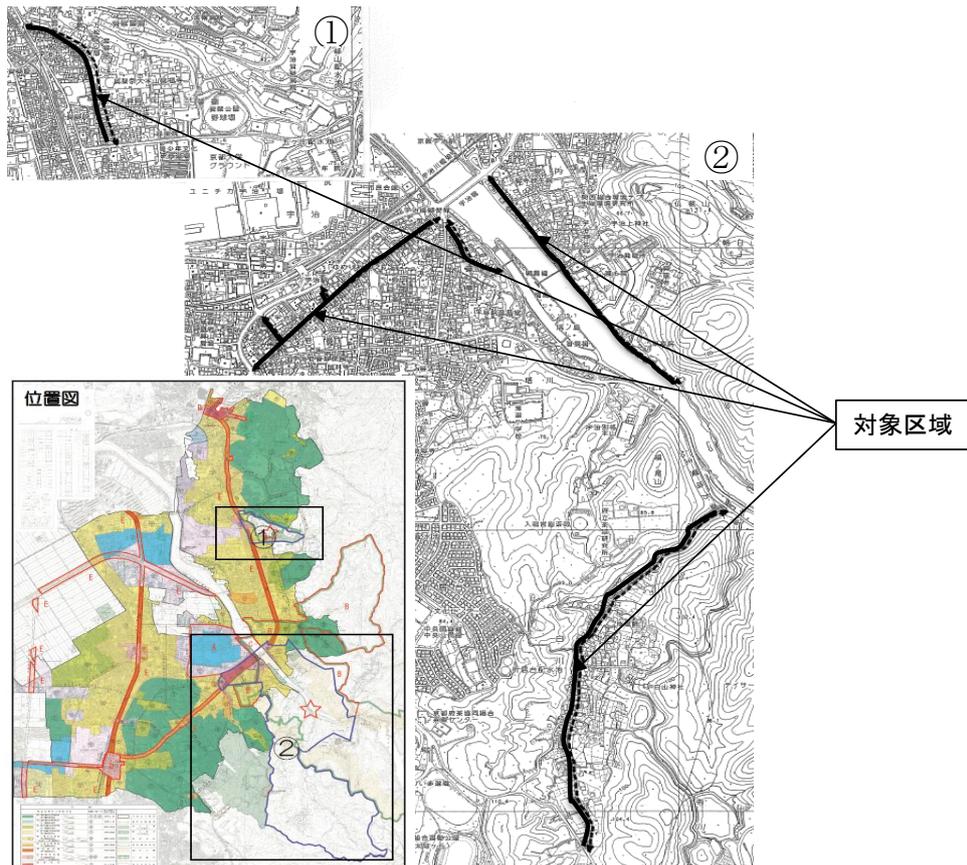
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市は、宇治市景観計画重点区域内において、良好な景観の形成に著しく寄与する屋外広告物の整備に対して助成を行うこととしており、今年度は、市の広報紙「宇治市政だより」や宇治市屋外広告物の許可手続きの啓発チラシを景観形成重要公共施設(道路)の沿道に全戸配布を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



配布対象区域

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況
宇治茶園支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成23年度 ~
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 減少傾向にある宇治市域の茶園の維持・拡大を進めることや、伝統的栽培方法を推奨することで、生産者の経済的負担軽減と活動意欲を支える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高品質な宇治茶の生産を促進する事業として、宇治茶の伝統的茶製法である「ほんず」による生産を支援する「伝統技術継承対策」支援事業を行うとともに、茶摘み時期に必要な「お茶摘みさん」の斡旋を支援する「手摘み茶推進対策」支援事業を行い、宇治独特の茶園景観の形成に寄与した。

【定量的評価】
 伝統技術継承対策事業の実施件数 : 18件(323.7a)
 手摘み茶推進対策の実施件数 : 33件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



伝統技術継承対策事業により支援が行われた「ほんず」と呼ばれる覆下茶園の栽培状況

手摘み茶推進対策事業により実施された「お茶摘みさん」を募集するチラシ

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度

平成25年度

項目

現在の状況

宇治茶品質向上事業

- 実施済
実施中
未着手

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 品質向上への意欲増進や栽培・生産技術の向上が図られる。また担い手育成に取り組むことにより、生業の維持が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

6月13日に宇治市で開催した宇治市茶品評会、8月6日から奈良県で開催された関西茶品評会、8月27日から京都府で開催された全国茶品評会に約80点以上の出品の支援を実施した。

全国茶品評会では「てん茶」部門において宇治の茶農家が農林水産大臣賞を受賞した。「てん茶」の産地賞を宇治市が受賞した。全国では平成17年から本年まで9年連続受賞を獲得し、関西でも昨年に引き続き2年連続受賞の結果を残すことができた。

茶品評会への出品を推奨することで、生産者の生産意欲を高めるとともに宇治茶の伝統的製法の継承につながった。

【定量的評価】

茶品評会出品数／入賞数：82点／33受賞

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



品評会の実施状況

	第67回全国 茶品評会	第66回関西 茶品評会	第46回宇治市 茶品評会
出品数	40	42	31
優等数			2
1等賞	4	1	4
2等賞	4	9	3
3等賞	8	7	4
農林水産大臣賞	受賞	受賞	-
産地賞	受賞	受賞	-

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	
宇治茶普及啓発事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成23年度 ~
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 市民や来訪者が宇治茶に親しみ、宇治茶を理解することは、お茶のまち宇治の歴史的風致の維持向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

5月12日に開催した「市民茶摘みのつどい」の開催や、10月6日に宇治川河畔一帯で開催された「宇治茶まつり」、「市民素人茶香服大会」への支援を実施したことにより、多数の市民や来訪者に宇治茶への親しみや理解を深めることに寄与した。

【定量的評価】
 市民茶摘みのつどいの参加者数： 400人
 宇治茶まつりの参加者数 : 18,000人
 市民素人茶香服大会の参加者数： 70人

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



市民茶摘みのつどいの開催状況



宇治茶まつりの開催状況



市民素人茶香服大会の開催状況

評価軸③-11
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	
市営茶室対鳳庵活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成23年度 ~
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 茶文化を体験できる機会を提供することは、市民や来訪者に宇治茶の品質や、茶業全般への関心や理解を促すことにつながる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本格的数奇屋建築の市営茶室「対鳳庵」において、表千家・裏千家・山荘流の3流派による抹茶や、小川流、二条流、端芳菴流、方円流の4流派による煎茶の本格的なお点前の実施により、茶文化の体験できる機会の創出とお茶への関心や理解を促す場を提供することができた。

【定量的評価】

市営茶室でお茶席の利用者数 : 14, 259人

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	観光振興計画に基づき、新たな取り組みを検討している。
--	----------------------------

状況を示す写真や資料等



茶の湯の用意ができていることを知らせる“在釜”の札をかかげる市営茶室対鳳庵の露地門



本席(三畳向切)において抹茶点前で喫茶の様子

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	

宇治川鶺鴒助成事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成23年度 ~

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 平安貴族の宇治川見物のひとつであった宇治川の鶺鴒は、鎌倉時代に禁止されたのち、昭和初年に復活し、以降宇治川の夏の風物詩として定着している。多くの来訪者を楽しませる鶺鴒を継承する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

鶺鴒事業の実施に支援し、6月15日(土)から9月23日(月・祝)までの出船期間中に乗り合い船、ツアー団体、貸しきり船などで約6,700人の乗船があった。宇治川の夏の風物詩として歴史的風致の維持向上に寄与した。

【定量的評価】

鶺鴒船乗船者数:約6,700人(増水・台風のため18日間の臨時休業があり、83日間の営業実施であった。)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

宇治川の河川改修を実施しており、関係者と協議していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



宇治川鶺鴒の実施状況



評価軸③-13
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	
宇治十帖スタンプラリー開催	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成23年度 ~
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 近世から親しまれる宇治の遊覧の1つ『源氏物語』宇治十帖めぐりを定期的に設けることにより、多くの人に宇治川河畔の歴史的風致に触れる機会が創出される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

晩秋の宇治の風情を楽しみながら源氏物語宇治十帖ゆかりの地などを巡るスタンプラリーを5日間(10月26日・27日・11月2日・3日・4日)開催し、宇治の歴史的風致に触れる機会が創出された。
 宇治市宣伝大使「ちはや姫」とご当地キャラクター「チャチャ王国のおうじちゃま」が参加するポイントを設け事業を盛り上げたが、天候に恵まれず、昨年の踏破者数を1,040人下回る結果となった。
 スタンプラリー特別ポイントとしていた「史跡宇治川太閤堤跡」では、「昔の土木工事を体験しよう!」をテーマに事業を開催し、石垣づくり体験(11月2日)では40人、石積み体験(10月27日・11月2日・3日・4日)では500人の参加者があり、これからの公園整備への理解を広めることができた。

【定量的評価】

スタンプラリー参加者数:16,598人

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



スタンプラリーのスタンプ帳



スタンプラリー実施のようす

	評価対象年度	平成25年度
--	--------	--------

項目	現在の状況
京都・宇治灯り絵巻の開催	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成23年度 ~
------	----------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容
 かつては宇治川の蛍狩りが夏の夜の風物詩として、多くの来訪者で賑わいを見せた。現在宇治川で蛍を見ることはできないが、夜に宇治川河畔を散策する機会を設けることで、かつてのような夜の賑わいの創出につながる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平等院や宇治上神社の改修事業等にもない事業効果が十分に見込めないことから、今年度の「京都宇治灯り絵巻」事業は休止した。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 周辺の改修事業が一部完了したため、事業については再開する方向で検討する。
--	--

状況を示す写真や資料等

評価軸③-15
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	
文化財見学会	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度 ~

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 小学生を対象にした文化財の普及・啓発活動は、郷土の歴史と身近な文化財への理解を促すとともに、ふるさと宇治に愛着と誇りを持ち、地域の伝統文化の継承への意識を高めることにもつながるため、次世代へと引き継ぐべき歴史的風致の維持向上に寄与するものである。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
・春の庵寺山古墳の一般公開	平成25年5月18日(土) 10時~15時 約80人
・浄妙寺跡発掘調査説明会	平成25年7月13日(土) 13時30分~15時 約150人の参加者あり
・【史跡宇治川太閤堤跡】 明治期煉瓦工場跡発掘調査現地説明会	平成25年9月28日(土) 13時~15時 約80人
・秋の庵寺山古墳の一般公開	平成25年11月9日(土) 10時~15時 約80人
・第23回小中学生の文化財見学会	平成25年11月30日(土) 13時30分~15時 37人

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



浄妙寺跡発掘調査説明会の状況



第23回 小中学生の文化財見学会の様子
(瓦塚古墳付近で説明を聞いているところ)

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
歴史・文化啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度 ～		
支援事業名	文化的景観保護推進事業国庫補助		
計画に記載している内容	多くの市民を対象にした歴史・文化の啓発活動は、郷土の歴史と身近な文化財への理解を促すとともに、ふるさと宇治に愛着と誇りを持ち、地域の伝統文化の継承への意識を高めることにもつながる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史・文化啓発事業として、宇治の歴史を学ぶ公民館事業である「宇治の形」の講座を年3回、文化財愛護協会との共催による「文化財見学会」の開催、次世代に宇治茶の文化や魅力を伝える親子体験型の事業である「宇治茶スタンプラリー」(11月16日開催)の後援を行った。さらに、文化的景観フォーラムを平成26年1月18日(土)13時から開催し、冒頭で第23回小中学生の文化財見学会に参加した方の感想文コンクール表彰式を行い、講演・パネルディスカッションには約80人の参加があった。			
【定量的評価】 文化的景観フォーラム参加者数:約80人			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



文化的景観フォーラム 2014



宇治の形

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
史跡宇治川太閤堤跡調査		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	～ 平成25年度		
支援事業名	地域の特性を生かした史跡等総合活用支援推進事業		
計画に記載している内容	遺構に基づく整備を実施し、本市の歴史・文化の理解を促すことができる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
宇治川太閤堤跡歴史公園の史跡整備に伴う遺構の詳細調査を行う本事業は、「史跡整備事業」(P3)で実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
文化的景観整備計画策定調査		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	～ 平成27年度		
支援事業名	文化的景観保護推進事業国庫補助		
計画に記載している内容	地域の自然・歴史・社会的文脈を保全しつつ、次世代のまちづくりを考える文化的景観の保護の取組は、歴史的風致の維持向上と密接に関わるものであり、整備計画において、重要構成要素に特定された物件を対象に、所有者等の協力を得て宇治地区の街区構造の継承や茶業関係の家屋の修景など整備活用の具体的検討を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>文化的景観を適切に保全してゆくために整備基本計画の策定をめざして調査を進めている。文化的景観の保全に関しては、現在の景観が出来上がってきた土地利用過程の調査を古記録から分析を進めるとともに、選定地区に現存する300棟の伝統的木造建築の実態調査を行い、これら家屋がどのような利用実態にあるかを確認した。今後は、これら現在の都市景観に大きな影響を与えている家屋の保全方法に関して、個々の家屋に付随する価値の如何と諸制度との関係性の整理が必要となっている。</p> <p>昨年に引き続き、計画策定を継続するとともに、茶業関係者からの生業の維持等に関する聞き取り調査を行い、農業関係者の意識や文化的景観の認知度を把握し、整備計画策定の基礎資料とした。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
文化的景観整備について協議の様子			

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
	項目	現在の状況

観光交通対策検討調査

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成25年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容

観光シーズンになると自家用車が重点区域に集中し、来訪者で賑わう狭隘な道路での安全性の確保や、近年増加している自転車の来訪者への対策が講じられておらず、宇治の風情を損なうことがある。このような交通問題対策として、来訪時と来訪中の移動について総合的に対策を検討し、計画に基づき、様々な事業をパッケージ的に実施することにより、歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

回遊観光の移動手段としての自転車交通施策や、来訪時の移動である公共交通利用促進、駐車場対策といった観光交通に対する有効な施策を関係者と共に検討し、事業計画を作成することとしている。

今年度は、中宇治エリアにある駐車場の配置状況について調査を行った。その中には、満空情報をインターネット上で公表している一部の民間企業の駐車場もあり、それらの情報を一体的に発信していくなど既存駐車場の有効活用の手法等について、検討を開始した。

また、来訪時の公共交通利用促進策について検討するため、平成23年度に実施した「宇治市観光動向調査」のデータを活用し、平等院を来訪される方の利用交通手段について調査した。

さらに、自転車を利用して宇治の観光エリアを訪れる方を対象に、スムーズに回遊できるような自転車マップを作成していることと取り組んでいる京都文教大学の研究室と意見交換を行った。

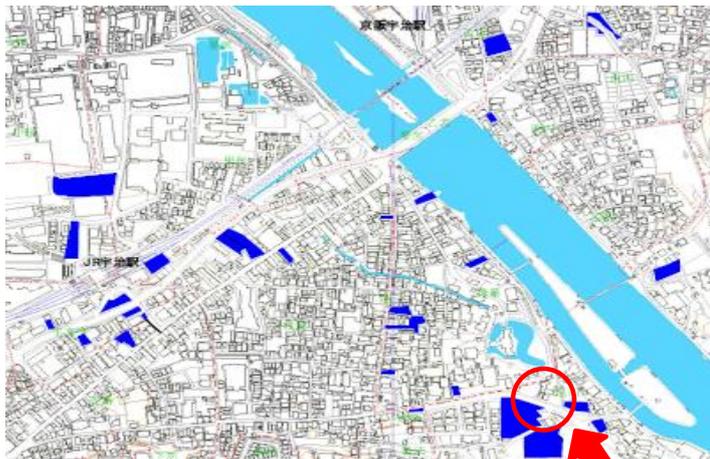
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

中宇治エリアにある駐車場の配置状況について引き続き調査を行う。

状況を示す写真や資料等



駐車場の配置状況(青着色部分)



平等院付近の状況

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	

文化財の保存・活用

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

史跡宇治川太閤堤跡は、文化庁、京都府教育委員会等の指導のもと、今後は地下の遺構を保存しながら、近世土木遺産の壮大な規模を感じさせる整備を行うこととする。
 そのほか、宇治の文化的景観(重要文化的景観)は、整備に向けた取組を進めており、住民主体のまちづくりを支援しつつ、速やかな事業実施に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

公開活用イベント 史跡宇治川太閤堤跡で「昔の土木工事を体験しよう！」
 石垣づくり 平成25年11月2日(土)10:00~15:00 40人参加
 石積み体験 平成25年10月27日(日)、11月2日(土)、3日(日)、4日(月・祝) 10:00~15:00 500人参加

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



石垣づくりの様子



石積み体験の様子

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	

文化財の修理(整備を含む)

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

(1) 国宝・重要文化財建造物
宇治上神社本殿・拝殿(国宝)は、前回の屋根葺替から拝殿は35年、本殿は30年が経過して檜皮の傷みが顕著になっており、このため国庫補助事業による屋根葺替修理が計画されている。

(3) 重要文化的景観
重要構成要素の家屋の修理・修景は、国の補助金の充当を可能とする市の分担金条例を活用した、文化的景観保存活用事業を進めるものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

(1) 国宝・重要文化財建造物
今年度は、国宝宇治上神社本殿の檜皮葺屋根の修理に着手し、檜皮葺屋根の葺替の定期的な実施により、文化財の保存に大きく寄与した。

(3) 重要文化的景観
景観重要構成要素の届出建物修理修景事業の実施件数: 1件
被災した景観重要構成要素(茶畑)の復旧の実施件数: 9件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



宇治上神社 本殿の修理状況



文化的景観(中村藤吉本店)

◆宇治上神社改修履歴

	修理内容	時期		
宇治上神社本殿	解体	明治43年		
	屋根	昭和18年		
	屋根・部屋	昭和56年		
宇治上神社拝殿	解体	明治41年		
	屋根	昭和18年		
	屋根	昭和51年		
宇治上神社摂社春日神社本殿	屋根	明治18年		
	災害	昭和25年		
	災害部屋	昭和36年		
	屋根	昭和56年		
	部屋	昭和61年		
	屋根	平成21年度		

評価軸④-3
文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用を行う施設		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 指定文化財等については説明板等を設置しているが、重要文化的景観と選定地と個々の構成要素を示す説明板は未設置のため、周遊マップ等と連携して説明板を設置する。また、現在様々な団体・部局が設置した説明板等は、統一性がなく乱立している個所も見受けられる。今後は文化的景観の価値を損なわないよう整備指針を定め、景観に十分配慮した色彩や大きさ、デザインを検討し、理解しやすい説明板や解説等の整備充実を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重要文化的景観の景観重要構成要素に特定している家屋である「中村藤吉本店」の修理・修景に伴い、景観重要構成要素説明板の設置を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応
 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



説明板の設置状況



説明板の内容

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	

文化財の周辺環境の保全

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

重点区域の大部分は「宇治市景観計画」の重点区域となっており、建築物の高さや色、看板や屋外広告物等への規制など、景観保全に関する指導を行うとともに、修景助成制度を活用して良好な景観形成に資する改修事例が増えるよう誘導する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市は、景観形成助成事業として、景観計画重点区域内の「景観重要建造物」や、景観重要公共施設の沿道の「建築物・工作物」への景観形成助成や「屋外広告物」の助成事業を実施している。平成21年度に「宇治市景観形成助成交付要項」「宇治市景観形成助成金景観助成基準」を定め制度の充実を図り、平成22年度から景観形成助成制度を開始し、平成25年度に4件の景観形成助成事業を実施した。

【定量的評価】

景観形成助成の件数 : 6件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



宇治橋東詰地区 建築物の保護塗料塗布



中宇治地区 飲食店外壁改修

評価軸④-5
文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	

文化財の保全及び活用の普及・啓発

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 文化財に親しんでもらうことを目的とした市指定史跡庵寺山古墳の公開や小中学生を対象にした文化財見学会、発掘調査報告会、文化的景観フォーラム等を行っており、これらの活動や行事を通じて文化財保護の普及啓発に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財保護の普及啓発を図るため、次の事業を実施した。

- ・春の庵寺山古墳の一般公開 平成25年5月18日(土)10:00~15:00 約80人の来場者あり
- ・浄妙寺跡発掘調査説明会 平成25年7月13日(土)13:30~15:00 約150人の見学者あり
- ・【宇治川太閤堤跡】
明治期煉瓦工場跡発掘調査現地説明会 平成25年9月28日(土)13:00~15:00 約80人の見学者あり
- ・秋の庵寺山古墳の一般公開 平成25年11月9日(土)10:00~15:00 約80人の来場者あり
- ・第23回小中学生の文化財見学会 平成25年11月30日(土)13:30~15:00 37人の参加者あり

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



五ヶ庄南部地域に残されている瓦塚古墳や岡本廃寺・虚竹禅師の墓などの遺跡を見学し、郷土の歴史を学びました。

文化財見学会の様子

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度

平成25年度

項目

現在の状況

埋蔵文化財の取扱い

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

重点区域内には「宇治市街遺跡」、「平等院旧境内遺跡」、「白川金色院跡」、「宇治川太閤堤跡」等の埋蔵文化財包蔵地があり、整備や活用に反映させることとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡宇治川太閤堤跡地内は、弥生中期から古墳後期の集落跡である「乙方遺跡」の埋蔵文化財包蔵地であるとともに、江戸期の瓦窯跡や、明治期の煉瓦窯跡など、史跡の本質的価値を構成する重要な要素以外のものが包蔵されていることから、史跡保存管理計画書に基づき、現在未調査部分の宇治川太閤堤跡の「遺跡」や「基盤となる地形」等の史跡の本質的価値を構成する重要な要素を調査するため、上層に包蔵されている煉瓦窯跡の調査を実施、史跡調査に必要な記録をとることができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



評価軸④-7

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	

文化財の保存・活用に関わる住民・NPO等の各種団体の状況及び今後の体制整備

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容
お茶どころ宇治の個性を磨くため、宇治茶園の覆下栽培を維持・拡大するための支援事業、宇治茶製法技術保存会への助成事業、「市民茶摘みの集い」や「宇治茶まつり」などの実施団体への助成事業など、宇治茶の品質向上・普及に努める農家や団体等への各種支援を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高品質な宇治茶の生産を促進する高品質茶推進事業として、宇治茶の伝統的茶製法である「ほんず」による生産を支援する「伝統技術継承対策」支援事業を行うとともに、茶摘み時期に必要な「お茶摘みさん」の斡旋を支援する「手摘み茶推進対策」支援事業を行った。

また、5月12日に開催した「市民茶摘みのつどい」の開催や、10月6日に宇治川川畔一帯で開催された「宇治茶まつり」、「市民素人茶香服大会」への支援を実施したことにより、多数の市民や来訪者に宇治茶への親しみや理解を深めることに寄与した。

【定量的評価】

- 伝統技術継承対策支援事業の実施件数 : 18件(323.7 a)
- 手摘み茶推進対策の実施件数 : 33件
- 市民茶摘みのつどいの参加者数: 400人
- 宇治茶まつりの参加者数 : 約18,000人
- 市民素人茶香服大会の参加者数: 70人

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



伝統技術継承対策支援事業により支援が行われた「ほんず」と呼ばれる覆下茶園の栽培状況



市民茶摘みのつどいの開催状況

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
馬馳せ、男衆駆け抜ける	平成25年6月9日	城南新報
県神社で大幣神事 悪疫退散を願い伝統行事	平成25年6月9日	洛南タイムス

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

宇治市の維持向上すべき歴史的風致には「遊覧と参詣」「茶どころ宇治」「宇治に伝わる祭礼」の3つを挙げている。「宇治に伝わる祭礼」の歴史的風致として、市の無形文化財第1号であり伝統的な行事である「大幣神事」が報道された。

進捗状況 計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり
計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



評価対象年度 平成25年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
秋の源氏ロードを満喫 宇治十帖スタンプラリー	平成25年11月6日	洛南タイムス
宇治十帖スタンプラリー 1万6598人踏破	平成25年11月6日	城南新報

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

宇治市の維持向上すべき歴史的風致には「遊覧と参詣」「茶どころ宇治」「宇治に伝わる祭礼」の3つを挙げている。現代版の「遊覧と参詣」ともいえる「宇治十帖スタンプラリー」に市民や観光客が多数参加したことについて報道された。

進捗状況 計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり
計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



秋の源氏ロードを満喫

宇治十帖スタンプラリー

5日間で1万6千人が踏破

◆「晩秋の宇治の風情を楽しみながら源氏物語宇治十帖ゆかりの地などをめぐる」「源氏るまん2013 宇治十帖スタンプラリー」が4日にピリオドを打ち、5日間の開催で1万6598人が踏破した。踏破者の数は昨年を1040人下回った。

◆コースは宇治十帖を巡る▽基本コース(10ポイント、約4.5キロ)、殿島神社(菟道)、鳳聖寺

◆「今年10月26日(土)から開催。文化の日」の3日、翌4日は午後から空模様安定しなかった。

◆「天ヶ瀬ダム、白山神社(白川)や世界遺産の宇治上神社、泉神社などを巡る▽健脚コース(20ポイント、約13.5キロ)」。踏破者には関係ないが、史跡・宇治川公園、当麻山万福寺、源氏物語ミュージアムも特別ポイントにした。

◆「写真は幅広い世代からの参加でにぎわった宇治十帖スタンプラリー(宿木)」。

宇治十帖 スタンプラリー

1万6598人 踏破

天候影響し1040人減



今年も大勢が参加したスタンプラリー

第23回宇治十帖スタンプラリーは5日間(10月26・27、11月2・3・4日)の日程を無事に終え、1万6598人が踏破した。天候に泣かされた結果、踏破者は昨年より1040人減少。宇治十帖の古跡を巡る基本コース(約4.5キロ)は1万2376人、基本に社寺仏閣などを加えた健脚コース(約13.5キロ)は4222人だった。

ただ、初設定のゆるキャラポイントは大人気コース上に隠れている市宣伝大使、ちはや姫、宇治園工芸会、所公認「チャチャ王国のおうじやま」を参加者が探した。

特に「おうじやま」はインターネット人気投票ゆるキャラグランプリ2013(11月8日まで)1ストリートレス当たり1日1回投票可能に挑戦中でPR機会にもなった。

評価対象年度	25年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 宇治市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 平成26年2月19日 10:00~12:00	
(コメントの概要)	
<p>■歴史的建造物の保全について、重要文化的景観の保存事業や建物修理修景助成事業の実施状況報告を受けたが、減少傾向にある歴史的建造物の対策として、今後は空家を活用する施策が求められる。また、空家の利用が活発になれば、閑静な住宅として利用するニーズと雑貨店など観光施設として賑わいを求めるニーズが対抗し、支障となる例があるので留意する必要がある。</p>	
(今後の対応方針)	
<p>次回の協議会で個別課題の意見交換を行い、歴史的建造物の活用を図る取り組みの検討を行う。</p>	

評価対象年度		25年度
・法定協議会等におけるコメント		
コメントが出された会議等の名称:宇治市歴史的風致維持向上協議会		
会議等の開催日時:平成26年6月2日 9:30~12:00		
(コメントの概要)		
<p>■「京都・宇治灯り絵巻の開催」について、主催者の宇治市観光協会では専門委員会を設け、イベントの観光振興に対する費用対効果の検証をしており、今後については検討中である。</p> <p>■「京都・宇治灯り絵巻の開催」について、再開の方向で検討中ということであったが、今後は「夜の観光」という広い視点で、ニーズの把握やイベントの方向性の検討等を実施してはどうか。</p>		
(今後の対応方針)		
引き続き、地域住民や関係団体と連携し、再開に向けて検討を行う。		